



廿日市市立佐伯中学校 令和7年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

10月号 (No.19)

令和7年

10月22日(水)

ヤングスポット (中国新聞)

佐伯中生徒の作文が中国新聞のヤングスポットに掲載されています。その人数は、4月から10月中旬までに22名となりました。新聞社の担当の方が、誕生日の近い生徒はあえてその日に載せるという粋な計らいもしてくださっています。本人にとっても家族の皆様にとっても記念に残るプレゼントですね。

紙面の都合により作文をここに載せることはできませんが、8月中旬以降に掲載された生徒の氏名と題名を紹介します。

8月23日	「礼儀を褒められうれしさ」	2年	佐伯 賢進 さん
8月28日	「平和願い悲劇伝え続ける」	2年	平下 皐月 さん
9月 5日	「平和一人一人が守るもの」	3年	的場 靖仁 さん
9月12日	「地域のあいさつ 心温まる」	1年	木村 日乃 さん
9月13日	「曾祖母との思い出 今でも」	3年	岡 裕次郎 さん
9月18日	「吹奏楽 地域の協力に感謝」	2年	藤田 優美 さん
9月30日	「少しの勇気で多くの笑顔」	2年	梅田 百愛 さん
10月 1日	「学校の礼儀正しさ伝える」	2年	山崎 崇士朗 さん
10月10日	「頑張る力は家族の愛から」	3年	原 梓沙 さん
10月15日	「知る楽しさ 料理作りから」	3年	瀧船 葵 さん

平和に関すること、地域の方への感謝、家族への愛情など内容は様々です。作文について先生の助言は一切無く、生徒の皆さんが書いた作文をそのまま中国新聞へ提出しています。どの作文も、皆さんが考えたことや気持ちを素直に表現していると感じます。私は皆さんの作文を読むと、中学生の優しさや可能性などを感じ、感心したり感動したりしています。皆さんの成長を楽しみにしています。

保護者の皆様へ

ヤングスポットの切り抜きを、校舎2階職員室前に掲示しています。文化祭で来校された際には、ぜひご覧ください。



書写&平和学習

10月14日(水)に、津田在住の小川妙子先生をお招きして、書写の授業と同時に平和学習を実施しました。小川先生は、書道家としても有名な方です。今年の4月には、廿日市市でニュージーランドを代表する芸術家ロビン・ホワイト氏と共同で「ふたつの世界」を展示されました。廿日市市とマスタートンとの姉妹都市交流事業・戦後80年非核平和事業でもご活躍されています。



先生には、先日ニュージーランドから帰国されたばかりでしたが、本校に来ていただきました。お孫さんが本校の生徒ということもありますが、国語科の播本先生が前任校からのお付き合いもあって連絡を取り、授業が実現しました。

お忙しいところ、そしてお疲れのところ、ありがとうございました。



企業訪問 (3年生)

10月7日(火)に、3年生が総合的な学習の時間で企業訪問をしました。自分たちの暮らす地域社会の今後について考察し、よりよい地域づくりについて貢献することなどを目的に、事前学習を十分行い、「株式会社ウッドワン」様、「株式会社A & C(宮島コーラルホテル)」様、「やまだ屋おおのファクトリーショップ」様、「藤い屋 IROHA village」様へ、グループごとに訪問しました。

2年生の時は、佐伯地域の事業所で職場体験学習を実施しましたが、今回は廿日市市内で佐伯地域にない事業所に行くことで、違った視点で企業努力を目の当たりにすることができました。

学習したことをまとめた後、報告会を実施することになっています。今回学んだことをお互いに共有して、これからの人生に活かしてほしいと思います。

また、事業所の方からいただいた多くのアドバイスを、ふるさと「佐伯」にも還元してください。

